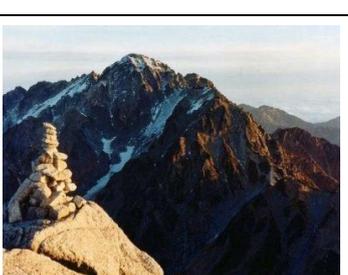


立山・剣岳シリーズ タイトル「剣沢の四季」

	<p>4月20日、いよいよ立山アルペンルート開通です。本格的な春山シーズン到来、立山周辺はまもなく一斉に「スキーヤー」「スノーボーダー」のシュプールが描かれます。写真のように「純白な・無垢の世界」は立山アルペンルート開通の朝8:00頃までとなります。</p>		<p>この頃に「別山」に登ると、まだまだ稜線にはたくさん雪があります。・・・気温も低く、春はまだまだのようです。一般ルートの登山道も上級者しか登れません。</p>
	<p>しかし5月になると、一気に雪が解けてしまいます。・・・写真は「雄山神社」から「真砂岳」「別山」「剣岳」を望むものです。</p>		<p>この頃、別山から「立山」を望むとこのような写真になります。立山三山の稜線の登山道は完全に雪がありません。</p>
	<p>この時期の夕日は、本当にきれいです。特に「剣御前岳」の「黒百合の科尔」から見る「東大谷の壁」は最高ですね。</p>		<p>6月には、稜線にはほとんど雪がありませんが、剣沢には雪がたくさん残っています。さすがに、日本三大雪渓です。「秋まで」雪が残っています。</p>
	<p>大雪渓を軽快に降りると、まだ、「剣沢小屋」も雪に埋もれて、屋根だけがちょっとかおお出しています。写真は剣沢のキャンプ場からの剣岳本峰30年以上のお付き合いになります。</p>		<p>さすがに、この頃に剣沢をすべる人はいませんが、唯一このメンバーに出会いました。剣岳八峰と後立山連峰を背にしてもくもくと登ってきます。この長い雪渓は、この時期が最も滑りやすいのです。</p>
	<p>剣岳は岩壁の山です。時々、大崩落があります。この年は、とても大きな土砂崩れとなりました。写真の「長次郎の雪渓」の土砂が「真砂沢」の小屋付近まで押し寄せました。</p>		<p>しかし、夏になれば、別天地です。剣沢の夏は最高です。快適な気温は下界の暑さを忘れさせてしまいます。</p>

	<p>しかし、夏になれば、別天地です。        剣沢の夏は最高です。快適な気温は下界の暑さを忘れさせてしまいます。</p>		<p>剣沢には小さな池が一つだけあります。        あまりきれいではありませんが・・・朝のこの時間は最高のシャッターチャンスです。</p>
	<p>剣沢の秋はあまりにも短い、剣沢雪溪の上部の雪が解けると、まもなく「新雪」だ。秋は9, 10月しかないのです。しかも、10月には新雪が積もる年もあります。</p>		<p>しかし、短い秋でも紅葉する葉を見ると、ホットします。        紅葉越しに見る「剣岳」は、いつもと違って優しく見えます。</p>
	<p>でも、この季節でもご覧のようにたくさんの雪があるのです。</p>		<p>このポイントは、今は見ることは少ない、「剣御前山」の「三角点」です。ここからは、本当に「最も三角形に近い」美しい形になります。いつも見る「剣岳」とはまた違った優しい「剣岳」です。</p>
	<p>いよいよ、10月下旬・・・新雪が降りました。夕日に輝く「新雪」は「絵」になりますね。写真は、好きなポイント「別山北尾根」から望む「新雪の剣岳」です。</p>		<p>いよいよ、10月下旬・・・新雪が降りました。夕日に輝く「新雪」は「絵」になりますね。写真は、好きなポイント「別山北尾根」から望む「新雪の剣岳」です。</p>
	<p>抜けるような「青い空」の「剣岳」は登頂するためには、富山県の登山条例により「届出」が必要となります。期間は12/1～5/15までです。写真は、「別山北尾根より剣岳を望む」</p>		<p>剣沢もご覧のように雪の世界になりました。この後は春まで訪れることはないでしょう。写真は「剣御前小舎より剣岳を望む」</p>
	<p>剣御前山へ登ると、立山も「真っ白」です。11月は、「スキーヤー」「スノーボーダー」にとっても最高のシーズンです。写真は「剣御前山より立山を望む」</p>		<p>それはこのように天候がよいときだけです。冬山の天候は「激変」します。行動範囲は短く、天候の変化・気温の変化には充分注意し、慎重に行動しましょう。写真は「剣御前山より剣岳・剣沢・後立山連峰を望む」</p>